

第6回(2023年度) 【作家・研究者支援】プログラムによる 支援対象者の決定について

第6回(2023年度)「作家・研究者支援」プログラムについては、2023年10月末日をもって応募期間を終了いたしました。お問い合わせ、ご相談、その他を含めて多数の反応をいただきありがとうございました。ご応募いただいた事案につきましては、当館所定の規程に従い厳正に審議を重ねました結果、以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

■対象者 **磯崎 式子 氏・富山 恵美子 氏**

■展覧会名 「Drawing 一その先へー 磯崎式子・富山恵美子二人展」

■概要

下描きでもなく、写真のような現代似絵でもなく、お手軽な趣味でもない、本格的な作品制作が身近にある鉛筆でできることを多くの人に知ってもらいたい…という磯崎・富山両氏の作品を展示するもの。長年「鉛筆ドローイング」の追求を重ねてきた両氏作品を並行して鑑賞することで、画題やモチーフの違いだけでなく、鉛筆の使い方やベースとなる紙の選択の違いからわかる表現の奥深さが感得される。なお本件は2024年度中に、当館において展示の予定。

※画像の作品は、出品作と異なる可能性がありますのでご了承下さい。



磯崎式子《見つめる》

2013年 129.0×96.0cm
アルシュ紙 / 鉛筆



富山恵美子《西風ゼフィロス》

2017年 66.0×66.0 cm
ケント紙 / 鉛筆

第7回(2024年度)「作家・研究者支援」プログラムについては、
2024年6月頃に支援対象者の募集を開始する予定です。